

2. 激甚災害から命を守る安心の備え

- ✓ 地域防災計画による大規模災害への強靱化・災害弱者対応
- ✓ 水道施設の強靱化
- ✓ 榛原総合体育館を県東部の防災拠点として活用
- ✓ 住宅の耐震化など命を守る備え



《4年間、取り組みました》

- ◆ 国土交通省の土石流対策事業を室生から榛原・大字陀・菟田野へも拡大
- ◆ 消防団活動の充実・強化や避難所の増設
- ◆ 水道未普及地域の解消(大字陀・菟田野)
- ◆ 道路、橋梁など緊急時のルートが強靱化
- ◆ 宇陀松山城や鳥見山観光道路の災害復旧

3. こどもまんなか安心の子育て

- ✓ 幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の給食費無償化
- ✓ 「宇陀でこどもを育てたい」と実感できる子育て支援
- ✓ 「榛原こども園」や「妊産婦・こども・家庭の総合支援拠点」を新設
- ✓ IT技術者養成アカデミー(大学)設立
- ✓ 欧米一の教育先進国エストニアと連携、生きる力を育む「アントレプレナーシップ教育のまち」宣言



《4年間、取り組みました》

- ◆ 妊娠・出産・子育てまでの伴走支援「たまひよサポート」
- ◆ オムツの心配無用「ゆとり登園」
- ◆ 「新・学校給食センター」令和6年2学期開設
- ◆ こども医療費助成を高校生まで拡大
- ◆ こども第3の居場所や重症心身障害児(者)の居場所開設
- ◆ 榛原総合センターのリフレッシュ(自習環境)
- ◆ 学校ひとり1台デジタル端末の実現
- ◆ 通学路113箇所の安全対策とキッズゾーン指定

4. いきいきと働く場所がある安心

- ✓ 経営支援・創業支援で地元企業を振興
- ✓ 持続可能な森林経営を支援
- ✓ 民間投資を呼び込む「公民連携」を加速、地域経済の拡大と雇用創出
- ✓ 地域商社の設立
- ✓ 日本初「オーガニックビレッジ宣言」で農林業を全国ブランドへ
- ✓ 毛皮革ブランド力の向上
- ✓ 市街化調整区域の規制緩和で企業立地を支援
- ✓ 海外ロボット企業などの企業誘致

《4年間、取り組みました》

- ◆ 県内初の公民連携プラットフォームなど100を超える企業・団体と連携加速
- ◆ 企業誘致拠点サテライトオフィス開設
- ◆ 食と農の国家戦略「オーガニックビレッジ宣言」
- ◆ 獣害対策・近畿最大のジビエ・ファクトリー開設
- ◆ 合同企業説明会開催
- ◆ 海外ロボット企業を誘致する基本合意締結
- ◆ 国道165号「中和津道路」促進協議会設立(会長・宇陀市長)



5. 元気人口を増やし、ともに生きる安心

- ✓ 誰ひとり取り残されない、共生の地域づくりを加速
- ✓ 「認知症の不安ゼロのまち」宣言
- ✓ 宇陀市立病院の地域医療充実
- ✓ 通院・買い物など地域交通サービスの充実
- ✓ 孤立対策や、障がいのある人の地域生活支援拠点づくり

《4年間、取り組みました》

- ◆ 迅速なコロナウイルス感染症対策や緊急経済対策
- ◆ 市立病院が「へき地医療拠点病院」に認定
- ◆ 人口あたり保健師数を県平均の2倍以上を達成(12市で1位)
- ◆ 無医地区解消へ移動診療車導入
- ◆ 「重層的支援体制」「地域包括ケアシステム」推進
- ◆ 権利擁護センター 開設
- ◆ 宇陀市人権交流センター開設
- ◆ 自動運転(県内初の公道走行)、かぎろいバス(ライドシェア)、らくらくタクシー開始



6. にぎわいのある安心

- ✓ 宇陀ブランドの情報発信加速
- ✓ 移住・定住、関係人口の増加へ
- ✓ 空き家利活用プロジェクトを加速
- ✓ 宇陀の強みを活かす観光を加速(薬草・歴史・文化・芸能・自然など)
- ✓ 高原スポーツのまちづくりを加速
- ✓ 宿泊施設の充実
- ✓ 地域コミュニティ再生へ行催事や交流活動などを支援

《4年間、取り組みました》

- ◆ 停滞していた4地区の県市連携まちづくり再開
- ◆ 宿泊できる農の拠点誘致
- ◆ 駅前観光交流拠点「じゅうだテラス」開設
- ◆ ひらら観光駐車場新設
- ◆ 薬草プロジェクト、伊勢街道プロジェクト推進
- ◆ 美榛苑、あきのの湯の経営再建
- ◆ 宇陀ソムリエ検定開始
- ◆ 空き家の店舗活用(市補助事業)20件⇒75件(令和5年度)
- ◆ 移住促進「宇陀の魅力体験施設」新設
- ◆ 近畿高校駅伝大会(80校)を誘致(令和7年度～)



座右の銘
「動機善なりや、私心なかりしか」
(稲盛和夫)